



芦屋ユネスコ協会

AU 通信

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

8月15日「平和の鐘を鳴らそう」行事実施

8月15日の終戦記念日に今年も、芦屋市民センター正面玄関横の「優愛の鐘」広場に山中市長を始め、会員およびその家族を中心に市民約100名（内、子供さん15名）が集い、広瀬会長、山中市長の挨拶のあと、ユネスコの平和宣言を一同で声高らかに唱和し、正午のサイレンとともに黙祷のあと、一人ずつそれぞれの思いを込めて「優愛の鐘」を高らかに打ち鳴らし平和を祈りました。その後、市民センター203号室へ会場を移し、広瀬会長から学徒動員や大阪大空襲などの戦中・戦後の貴重な体験談を拝聴したあと、今回は「ピースあしや」のメンバーが多数参加され～絵本「ムツとわたし」～を朗読して貰い、戦争の悲惨さと平和・命の尊さを実感させて頂きました。その後、戦時食の～ふかし芋とおにぎり～を食しながら、戦時中の体験など語り合い更に平和の尊さをかみしめました。懇談・懇親の最後には、やなせたかし作詞の「手のひらを太陽に」を全員で合唱し行事を有意義に締めくくらせて頂きました。

芦屋ユネスコ協会の「平和の鐘を鳴らそう」行事は、毎年継続して実施されており市民の皆さんにも理解と協力を得て定着してきましたし、報道機関も毎年芦屋の行事を取り上げてくれています。今年も、皆様のご協力を頂き～平和の祈りと願い～を込めた行事が、多彩な内容で有意義に実施できました。厚くお礼申し上げます。

（報告者：山田事務局長）



新 聞 日 本 朝 日 13版 Δ 2008年(平成20年)8月16日 土曜日 阪神

響け 平和の鐘

阪神各地 戦没者悼む集い

63回目の終戦記念日となった15日、阪神間でも各地で戦争の犠牲者を悼み、平和を願う催しが開かれた。

芦屋市業平町の市民センターでは、芦屋ユネスコ協会主催の平和を願う集いが開かれた。約100人の参加者は正午の時報に合わせて黙禱し、同センターにある「優愛の鐘」を一人ずつ鳴らして不戦の誓いを新たにしました。

この後、毛皮増産などを理由に飼犬の供出を余儀なくされた戦時中の体験を芦屋市の女性が絵本にした「ムツとわたし」を朗読。ふかしイモ



第30回 阪神間ユネスコ連絡会 合同事業 開催される

本年も、阪神間ユネスコ連絡会の合同事業が、芦屋、尼崎、伊丹、川西、神戸、三田、宝塚、西宮、三木の9協会の主催で、西宮ユネスコ協会担当で、10月22日(水)14時から西宮市フレンテホールで開催された。事業内容は、京都女子大学名誉教授の大国 儀一氏による講演でその内容は「京都の文化価値とその保存」と題し世界遺産に登録された背景と文化保存活動のあり方等々、ユネスコの重要活動の世界遺産・地域遺産の認識と維持保存その伝承について示唆に富んだお話を学ばせて貰った。西宮市民も含め約200名が参加し、講演会のあとの交流会では有意義な意見交換がなされ、ユネスコ精神と活動内容を確認することに大いに役立った。西宮ユネスコ協会のご尽力に感謝し報告とします。(報告者 山田 事務局長)

寄付金 拝受 報告と御礼

9月3日、本年も N.G.F.プロティーチングゴルフ協会 (会長 山下義房 様) からユネスコ活動の世界寺小屋運動・世界遺産保全に対しのご賛同を得て、チャリティーコンペの収益金 **180,000円** をご寄付頂きました。コンペに参加した河上せつ子監査委員と塩井君子理事が有難く頂戴して参り、早速本部を通じて関係先に届けさせて頂き大変感謝されました。ここにご報告いたし、ご寄付に重ねて厚く御礼申し上げる次第であります。

つなげよう平和の心

みんなが元気で平和に暮らせる世界を作るために、UNESCO（ユネスコ）は生まれました。

ユネスコ憲章一前文より「戦争は人の心の中で生まれるものであるか人心の中に平和のとりでを築かねばならない」

芦屋ユネスコ協会は「人類の大切な遺産を未来に引き継いでいくために！」「未来の世代に教育の機会を！」「子どもの未来のために！」「飢えや病気に苦しむ人々のために！」などなど色々な活動が続けております。

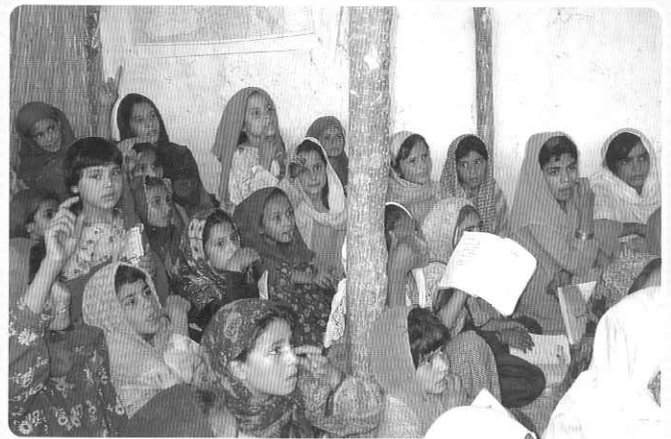
皆さまのご協力をお願いいたします。

地球のたからものを未来へ 世界遺産活動



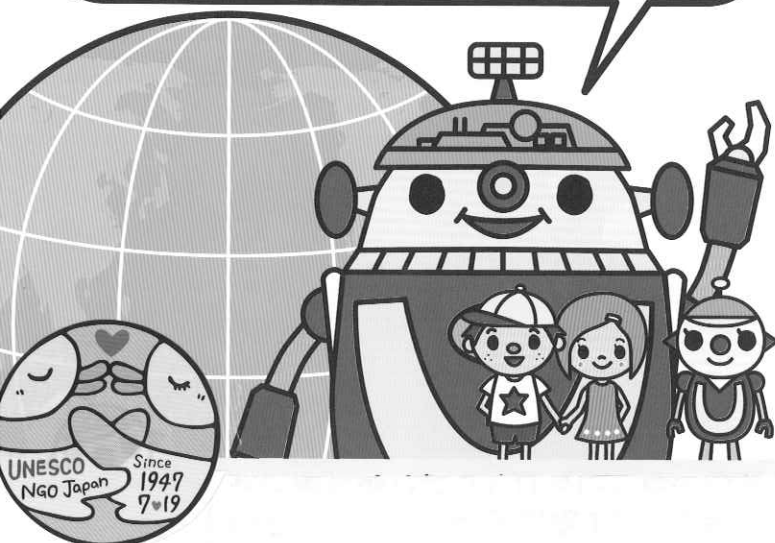
世界中のいろいろな国や民族の貴重な文化や自然は、みんなのたからもの。それらを守り、伝えていくのが世界遺産活動です。

みんなに教育の機会を 世界寺子屋運動



世界には、戦争や貧しさなど様々な理由で学校に行けず、読み書きや計算ができない人がたくさんいます。そういう人たちが、勉強できるように応援するのが世界寺子屋運動です。

「みんなが元気で平和に暮らせる地球のために、
君は何ができるかな？」



みんなでつなげよう！ 平和の心

わたしの平和宣言

1. すべての人の生命をたいせつにします
2. どんな暴力も許しません
3. 思いやりの心を持ち、助け合います
4. 相手の立場に立って考えます
5. かけがえのない地球環境を守ります
6. みんなで力を合わせます



芦屋ユネスコ協会では、年に4回広報紙「AU通信」を会員の皆さんにお送りし活動の報告をさせて頂いておりますが、芦屋ユネスコ協会のホームページを開設し常に新しい情報を提供しておりますので下記にアクセスして是非ご確認を頂きますようお願い致します。

<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>

芦屋ユネスコ協会 会員各位

芦屋ユネスコ協会

年末講演会&親睦会のご案内

早いもので今年もいよいよ年末が近づいて参りました。皆様には如何がお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

今年度も恒例の芦屋ユネスコ協会の 年末講演会&親睦会 を下記要領にて開催いたします。どうぞ奮ってご参加下さいますよう ご案内申し上げます。

記

日 時：**2008年12月16日(火)** 18:00～20:30(受付： 17:30～)

場 所：ホテル竹園 3階

内 容：講演会・・・外務省特命全権大使（関西担当）

食事会・・・フリースタイル

ビンゴ・・・景品多数

会 費：6,000円（学生3,000円）－ビンゴ券1枚付き：当日受付にて

お願い ①**ビンゴ景品提供**にご協力をお願い致します。家に眠っているもの(新しいもの)をお持ち下さい。当日受付にてお渡しくだされば助かります。よろしく。

②**書き損じハガキ**がありましたらご持参下さい。

どうぞ、ご家族の方、ご近所の方、お知り合いの方、特に若い方、お子さん方お誘い頂き、ご一緒に参加頂きますようお願い申し上げます。今からご予約を頂きまして、ご参加の程、よろしくお願い申し上げます。

書き損じハガキご提出のお願い

家の中に残されている未使用の古い葉書(書き損じハガキ)がありましたら、是非ご提出下さい。頂きました葉書はお金に換えられ、世界の非識字者のための学校建設や子供たちの学用品調達などの資金になります。(この運動を世界寺子屋運動と呼んでいます)

書き損じ葉書1枚で45円の募金になります。ネパール国では葉書1枚で鉛筆が7本買え、アフガニスタン国ではノート1冊とボールペン2本買え176枚で1人が1年間学ぶ事が出来ます。あなたの葉書で沢山の人の夢を叶えることが出来るのです。あなたの優しさで世界が変わります。1枚でも多くの書き損じハガキが集まり世界の平和につなげて頂きたいと、ご協力お願い致します。芦屋ユネスコ協会では、年間を通じて書き損じハガキのご提供を受け付けております。

お知り合いの皆様にもご協力をお願いして下さい。

～あなたの ハガキで 幸せを～

編集後記

今年の夏の暑さは格別でしたね。私は少しバテました。そんな中での「平和の鐘を鳴らそう」行事は、毎年恒例事業として皆様の心の中で根付いているようです。昨年同様15人のお孫さんと出席されそのお子様方の成長の早さに少し驚きました。(将来のユネスコ会員です。)

涼風が立てばすぐ年末のお知らせです。少し気が早いようですが体調を整え「年末講演会&親睦会」でお会い出来るのをたのしみに・・・

本荘 美恵